

いつでも、どこでも、

誰でも、急変対応



「救急を考える月」である9月に合わせ、2026年度第3回院内公開講座を開催しました。今回は「いつでも、どこでも、誰でも、急変対応」をテーマに心肺蘇生法（BLS：一次救命処置）について市民の皆さまと学びを深めました。

講座では、実際の人形を使用しながら、傷病者の意識確認、119番通報、AEDの使用方法、胸骨圧迫（心臓マッサージ）などを体験していただきました。

参加者の皆さまには、突然目の前で人が倒れた場面を想定しながら、救命行動の流れを実践的に学んでいただきました。



実技終了後の意見交換では「実際の現場ではどう対応すればよいのか」という視点から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

- 胸部への電極パッド装着時のネックレスやアクセサリなど金属類の扱い
- 女性傷病者への対応方法
- 周囲の協力者への声掛けや役割分担 など

AEDは難しいと思っていたが、音声案内に従えば使用できるとがわかりました



救命処置とプライバシーへの配慮を両立することの大切さを学ぶことができました



胸骨圧迫の強さや速さを実際に体験できて良かったです



救急現場では、一人ひとりの迅速な行動が尊い命を救うことにつながります。当院では今後も地域の皆さまを対象とした公開講座を開催し、救命知識の普及と地域医療への貢献に努めてまいります。